

中間評価報告書

総合理工学研究機構運営・評価委員会 平成28年10月19日(水)

研究課題	クニマスの保全並びに活用に関する研究	
研究期間	平成27年度～29年度	
	評価項目	平均点
1	研究の進捗状況	3.4
2	研究継続の必要性	4.4
3	期待される研究成果	3.4
	総合評点	3.7
<p>保全に影響する環境因子については、水温、水質、餌プランクトン密度、湧水量など多くが考えられるので、それらの優先順位をつけて調べる必要がある。また、利用については、養殖技術の確立、代理親による稚魚の安定生産等の課題解決が必要だが、是非、次につなげる成果をだしてほしい。</p> <p>全国的に注目されるテーマであり、本県として継続する意義は高い。是非、保全や養殖に繋がる道筋をつけてもらいたい。</p>		